

【第1号議案】平成27年度 事業計画

展示事業 =別紙1、3参照

[概略]

年間開館日について、平成26年度の展示替えスケジュールがタイトであったため、27年度は展示替えに5営業日を充てたい。

平成27年度は企画展示6本と常設展示（前後期の展示替え）を計画。うち1本は會津八一記念館との共催による特別展を予定。この共催は26年度に続き、広報や共通券などによる相乗効果を期待する。

他の施設や団体との共催企画や連携の仕組みについては、25年度から試行錯誤を重ねているが、27年度は広報なども含めた仕組みづくりを進めたい。

◆年間の開館日、休館日および展覧会数（別紙1参照）

開館日	休館日	常設（展示替え数）	企画展示（本数）
281日／366日間	85日／366日間	2回	6本／6クール

(1) 常設展示

前期（4月7日～9月27日）、後期（10月3日～3月27日）で展示予定。併せて、受賞者コーナーにて、昨年度の文化功労者に認定された小池和男氏（新潟市出身、法政大学名誉教授、労働経済学）の仮パネルを作成予定。

会期	内容
前期 4月7日(火)～9月27日(日)	医学・新潟の女性たち・美術・文学
後期 10月3日(土)～平成28年3月27日(日)	中国学・新潟の女性たち・美術・文学
通年 4月7日(火)～平成28年3月27日(日)	文化勲章・文化功労者・人間国宝

※資料保存のため、関連資料は2か月毎に展示替えを計画。

(2) 企画展示 ※名称を「特別展示」から変更

企画展示（ウォールケース・覗きケースを中心に活用）6本を開催。

クール	会期	展覧会名	内容	目標人数
I	4/7(火) ～5/31(日) 48日間	「にいがたの歌と音楽」	新潟県ゆかりの文化人が作詞または作曲した唱歌や童謡などを紹介。 〔紹介文化人〕 相馬御風、小山作之助、斎藤正直、犬童球溪、吉田千秋など	1,000人

II	6/6(土) ～7/26(日) 44日間	「良寛とその周辺 (仮称)」	全国良寛会および新潟良寛会との共催企画により、良寛や會津八一、相馬御風などの資料を紹介。 〔紹介文化人〕 良寛、會津八一、相馬御風など	1,200人
III	8/1(土) ～9/27(日) 51日間	會津八一記念館 特別展 「山本悌二郎と 佐渡」	會津八一記念館で開催する「澄懷堂美術館名品」展の第2会場として、展示作品の所蔵者であった山本悌二郎を紹介。 〔紹介文化人〕 山本悌二郎、有田八郎など	4,000人
		併設展 「佐渡の兄弟 一土田麦僊・杏村、 北一輝・怜吉、山 本悌二郎・有田八 郎一」	會津八一記念館特別展の併設展として、佐渡の兄弟(土田麦僊・杏村、北一輝・怜吉、山本悌二郎・有田八郎)を中心に紹介。 〔紹介文化人〕 土田麦僊、土田杏村、北一輝、北怜吉、山本悌二郎、有田八郎など	
IV	10/3(土) ～11/29(日) 50日間	「岡倉天心と にいがたの画家」	10月3～4日に開催される「第20回天心サミット in 新潟」に併せて、岡倉天心と新潟県出身またはゆかりの画家を中心とした明治期美術について紹介。 〔紹介文化人〕 岡倉天心、小山正太郎、尾竹越堂、尾竹竹坡、尾竹国観、小林古径など	1,300人
V	12/5(土) ～1/31(日) 44日間	「パリの 落谷虹 児」	5月にパリで開催する回顧展を記念して、パリと落谷虹児をテーマに展示。関連事業として講演会を予定。 〔紹介文化人〕 落谷虹児、吉屋信子、中原淳一、石黒敬七、高島華宵、竹久夢二など	1,700人
VI	2/6(土) ～3/27(日) 44日間	「気骨の人―越後 人の粘り ～鈴木牧之・諸橋 轍次・吉田東伍・ 原久一郎・金子健 二～」	越後人の長所といえる「粘り強さ」をテーマに、独力で大事業を成し遂げた文化人を紹介。 〔紹介文化人〕 鈴木牧之、諸橋轍次、吉田東伍、原久一郎、金子健二など	800人

イベント事業

[概略]

平成 26 年度は新潟日報メディアシップとの連携事業を開始。当該事業を実験的
事業と位置付け、連携の在り方を探りながら企画を固めていった。27 年度も年間を
通して連携を取りやすい事業での共同企画を進めたい。

26 年度は、館内外で館長や事務局長による講演が開かれた。27 年度は天心サミ
ットなど他団体との連携を含めたイベントを計画している。

(1) 企画展示関連イベント

企画展示の関連イベントとして講演会などを計画。

ケル	日 程	事業名・内容	講師など
I	4/23(木) 14:00-16:00	コンサート「にいがたの歌と音楽 ～童謡・唱 歌を中心に～」 【内容】新潟と関連のある童謡や唱歌のコンサ ート	柳本幸子氏、奥村和雄氏、 経麻朗氏、石山響一郎氏、 コーラスおおがた（女 声）、Coro Murecci(混声)
IV	10/3(土) ～10/4(日)	シンポジウム「第 20 回 天心サミット in 新潟」 【内容】岡倉天心をテーマとしたシンポジウム ※主催は「第 20 回 天心サミット in 新潟」実 行委員会	コーディネーター： 神林館長
V	1月中旬	講演会「タイトル未定」 【内容】「パリと露谷虹児」関連テーマを予定。	外部講師（未定）

調査及び研究・研修事業

[概略]

平成 25 年の開館以来、博物館の基本事業である調査研究に十分取組めていなか
った。そのため 27 年度は、インフォメーションセンターとしての機能を果たすべ
く、文化人の調査および、それにかかるデータ構築、蓄積を重点的に進めたい。

開館から 3 年目に入り、館運営の質を向上させるため、また他館との連携を強化
するために、職員研修の機会を拡充したい。

研 修	歴史資料保存活用専門研修会、学芸員等職員研修会など
-----	---------------------------

教育普及事業

[概略]

平成 26 年度からの新規事業「月いちレクチャー」は少しずつだが毎月または隔月で参加してくださる方が見受けられる。定期的に参加するため年間パスポート会員となるお客様もいらっしゃるため、27 年度も企画展示と連動させた形で計画したい。

開館時に開催した単独の館長講演なども検討。また、副読本については、27 年度以降は副読本を活用した出前授業などを計画していく。

(1) 学芸員等による解説会「月いちレクチャー」(別紙 1 参照)

開催は、毎月第 4 土曜日 午後 2 時から午後 2 時 30 分 (原則)

	開催日	テーマ	企画展示	相関図 (テーマ)
1	4 / 25 (土)	吉田 千秋	4 / 7 ~ 5 / 31	医学 新潟の女性たち 美術 文学
2	5 / 23 (土)	小山 作之助	にいがたの歌と音楽	
3	6 / 27 (土)	良寛とその周辺①	6 / 6 ~ 7 / 26	
4	7 / 25 (土)	良寛とその周辺②	良寛とその周辺	
5	8 / 22 (土)	山本 悌二郎	8 / 1 ~ 9 / 27	
6	9 / 26 (土)	益田孝と瓜生繁子	山本悌二郎と佐渡	
7	10 / 24 (土)	岡倉天心と小山正太郎	10 / 3 ~ 11 / 29	中国学 新潟の女性たち 美術 文学
8	11 / 28 (土)	岡倉天心と尾竹三兄弟	岡倉天心とにいがたの画家	
9	12 / 26 (土)	落谷 虹児	12 / 5 ~ 1 / 31	
10	1 / 23 (土)	吉屋 信子	パリの落谷虹児	
11	2 / 27 (土)	諸橋 轍次	2 / 6 ~ 3 / 27	
12	3 / 26 (土)	原 久一郎	気骨の人—越後人の粘り	

(2) 講演会など

平成 27 年度は、25 年のオープン時より開催している、相関図をテーマとした館長講演会の再開を計画。

	日 時	事業名・内容	講 師
1	6 / 11 (木) 14:00~15:30	講演会「日本の<美術>をつくった新潟人相関図 (仮)」 【内容】相関図「美術」に関連したテーマを予定。	神林館長

(3) 副読本を活用した出前授業

県内市町村立中学校にて副読本を活用した郷土先人教育への活用を軸とする。
平成 27 年度は新潟県立教育センターの既存事業「学ぼう新潟の知恵」に職員が

登録し、学校の要請に応じて副読本を活用した出前授業を計画。

事業主体	事業内容
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内市町村立中学校にて、副読本を活用した郷土先人教育に活用を軸とする。 ・県立教育センター既存事業「学ぼう新潟の知恵」に当館職員が登録し、学校の要請に応じて副読本を活用した出前授業を展開。
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校または市内教育関連施設等にて、副読本を活用した郷土先人教育を軸とする出前授業のフレームづくり。 ・学校の要請に応じて、副読本を活用した出前授業を展開。
にいがた文化の記憶館	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目的にかかる入館料減免を適用 事例 1) 校外授業等での引率教員等 2) 副読本を活用する授業計画案作成にかかる観覧 ・子ども向けワークショップの開催（年数回程度） ・教諭向けに副読本活用にかかる解説会等の開催

連携・交流事業

[概略]

平成 26 年度に続き、当館を利活用したサテライト展示（PR 出張展示）の受け入れなど、前年度からの事業を継続。より具体的な連携がとれるよう、運営協議会などを設けて、意見を聴取し、連携の仕組みづくりに反映させたい。

（1）第 3 回にいがた文化ネットワーク協議会の開催

平成 27 年度の前期 8～9 月頃に、第 3 回ネットワーク協議会を予定。

また、緩やかな組織を前提とした運営協議会などを設け、ネットワーク協議会の運営や協力体制（展示および広報活動の相互扶助）について意見を聴取し、連携の仕組みづくりに生かしていく。

項目	内容
①第 3 回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時（予定）：平成 27 年 8 月 3 日（月）午後 2 時～5 時 ・会場（予定）：メディアシップ 6 階 ナレッジルーム ・議題（案）：平成 26 年度事業報告および平成 27 年の事業計画 にいがたネットワーク協議会運営、協力体制について 會津八一記念館および当館の企画展示の見学など

②参加館への 展示補助	<ul style="list-style-type: none"> ・展示補助：企画展示（年6本） ・補助内容：展示プラン作成、広報、関連イベントなどの支援
③機関誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・発行予定：平成27年4月 ・内容：巻頭特集ページ及びイベントスケジュールを含む。
④ネットワーク 会員館のため の内覧会	<p>開催日時（予定）：毎月3月曜日 午後1時～午後5時</p> <p>※要事前予約（内覧会開催日の2週間前までに受付）</p> <p>（理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク協議会参加館の多くが月曜休館のため、職員の休日に当館の展示を見ることが難しい。 ・サテライト展示を利用させていただくため、参加館の職員が当館を見学しやすい毎月第3月曜午後を内覧会日としたい。

【参考】にいがた文化ネットワーク協議会 年次計画案（平成25～27年度）

年度	計画案
平成25年度	にいがた文人情報ネットワーク設立による、担当（学芸員）レベルから館レベルでの交流の拡大に協力する。 当館を利活用したサテライト展示の受け入れ（年1~2本）、展示及び広報活動の補助。
平成26年度	前年度に続き、当館を利活用したサテライト展示の受け入れ（年3~4本）。 展示及び広報活動の補助。 ネットワークの醸成による、参加館同士での企画展計画、共同展覧会や事業等の立案。
平成27年度	参加館が主体となったサテライト展示による、文化的、観光的な交流人口の拡大。

(2) 機関誌「にいがた文化」の発行

平成27年度初めに第1号を発送予定。誌面では、県内顕彰施設および団体のいち押し企画展やイベント情報を掲載し、PR誌としても活用してもらう。

判 型	A4（A3二つ折り） 8頁
発行部数	5,000部
頒布方法	無料
頒布先	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の顕彰施設および団体、文化施設、図書館など ・一万円以上の寄付者（平成24年度第1回臨時理事会（書面）にて議決した事項）

顕彰人物選定委員会

[概略]

平成 26 年度に発足を計画していたが、顕彰人物の調査やデータ蓄積に取り組んでいないため、27 年度は顕彰人物の調査及びデータ構築、蓄積に着手していく。顕彰人物選定委員会の立ち上げや発足については、28 年度以降の発足を目指す。

◆スケジュール案

平成 27 年度	顕彰人物の調査およびデータ構築
平成 28 年度以降	<ul style="list-style-type: none">・ 顕彰人物のデータ蓄積、選定委員会立ち上げ準備（顕彰人物の選定、選定委員の選考など）・ 選定委員会の開催に向けた準備（顕彰人物の選定など）、選定委員会の開催・ 展示への組み込み作業（相関図など）

【参考資料】

別紙 1 「平成 27 年度 にいがた文化の記憶館 企画展示スケジュール・開館カレンダー」

別紙 3 「平成 26 年度 第 2 回 役員会（平成 26 年度 展示計画状況報告）」